

## [九州電力送配電株式会社管内における発電機連系制約マップ]

太陽光発電などの申込みの急増に伴い、当社管内の広範囲の地域(特に九州中部、南部)において、送電線、系統用変圧器、及び配電用変圧器の増強が必要となっております。発電機を連系するにあたり、熱容量面で制約が発生する地域は以下のとおりです。

○九州電力送配電株式会社の電力系統を「**□**」で分割しており、分割したエリアのうち熱容量面で制約が発生する地域を **●** で図示しております。また、分割したエリア内の番号をクリックすると当該エリアの詳細な系統図及び「空き容量一覧表」を確認することができます。詳細な系統図では、色分けにより系統の状況を表示しています。

※青: ノンファーム型接続が必要となる系統(ノンファーム型接続が必要になる系統であっても、別途N-1電制が必要となる場合があります)

黒: 空き容量あり、緑: 空き容量がないが、N-1電制により連系が可能となる見込みの電力設備、

赤: 空き容量がなく、かつN-1電制適用不可など連系にあたり設備対策工事が発生する見込みの電力設備

○電源接続案件一括検討を実施中のエリアを **●** で図示しております。各エリアの実施状況については、以下のURLを参照下さい。

※電源接続案件一括検討プロセスの実施状況 URL : [https://www.kyuden.co.jp/td\\_service\\_wheeling\\_diprocess.html](https://www.kyuden.co.jp/td_service_wheeling_diprocess.html)

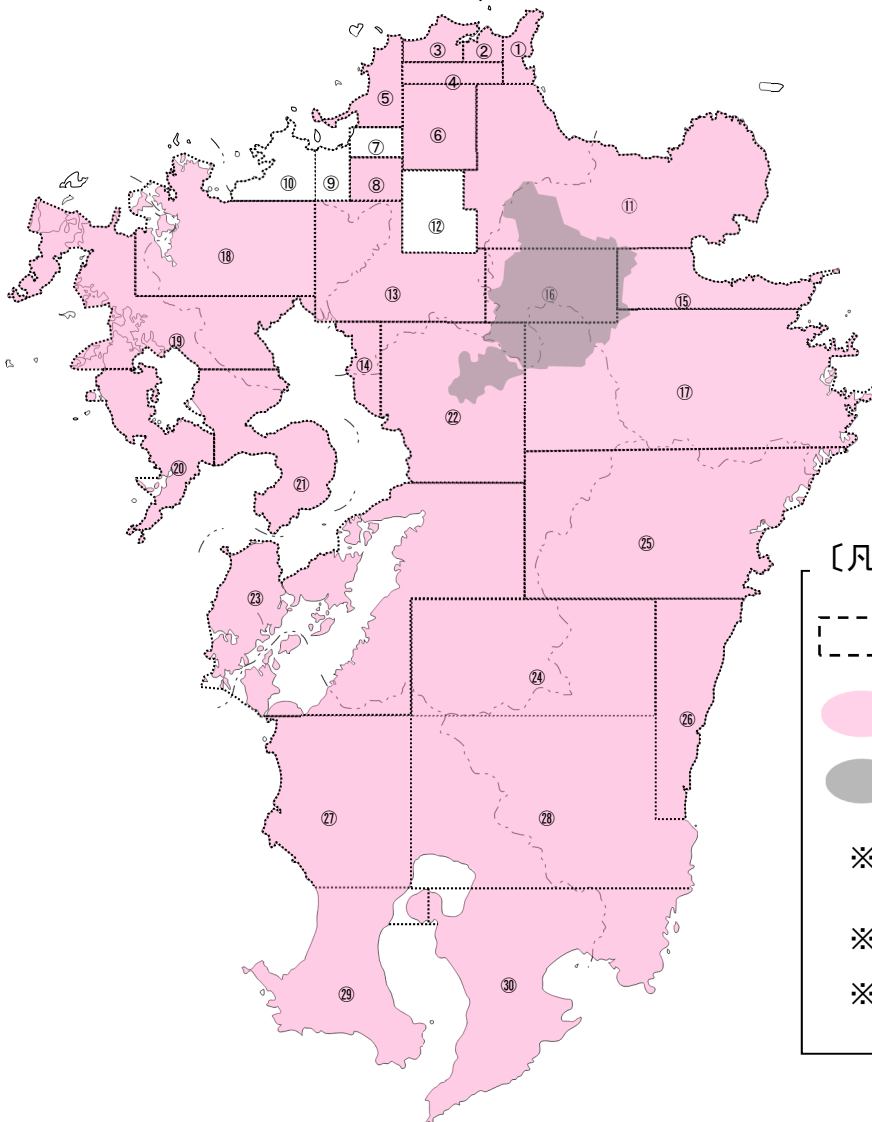
### [留意事項]

※「空き容量一覧表」は、熱容量を考慮した空き容量を記載しております。その他の要因(短絡容量や電圧変動等)で、連系制約が発生する場合があります。

※また、熱容量を考慮した空き容量は、系統毎に電源の並入状況等によって変動します。今回、お知らせする空き容量は、電源の並入状況を一定の条件で算定したものです。詳細については、別途、接続検討の申し込みによる詳細検討(有料)が必要となります。

※社会的に影響を与えることが懸念される重要施設への供給系統に関する情報や、電力供給が特定できるような第三者情報などについては、公開しておりません。

※電力広域的運営推進機関が公表した「想定潮流の合理化」を制約マップに反映しております。



### [凡例]

□ 電力系統分割エリア

● 容量面で制約が発生している地域

● 電源接続案件一括検討プロセスを実施中のエリア

※ 数字をクリックすることで各地域の系統を表示します。

※ 離島については[こちらをクリック](#)

※ ノンファーム型接続対象エリアについては[こちらをクリック](#)